

# 2050年カーボンニュートラル社会へ

積極的な地球温暖化対策が環境の保全だけでなく、大きな経済成長につながります。  
私たちの行動で、これからの未来を変えましょう。



愛宕小学校でのSuzuka-ECO<sub>2</sub>プロジェクト出前授業の様子

## 地

地球温暖化による気候変動は、ゲリラ豪雨や巨大台風の発生、猛暑などの気象災害の原因と考えられ、私たちの日常生活や社会に大きな影響を及ぼしています。これは私たちの活動から排出している「温室効果ガス」によるものと考えられています。

今、世界共通の課題となっているのが、温室効果ガスの排出抑制。日本も「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体として実質ゼロにする『カーボンニュートラル社会』の実現を目指すこと」を2020年10月26日に宣言しました。また、その宣言とともに示されたのが「これまでの発想を転換し、積極的に温暖化対策を進めることが経済の大きな成長につながる」という考え方です。これは、環境保全はもちろん、これからの日本や地域の経済成長のためにも、地球温暖化対策を進めることが必要であることを意味しています。

本市においても、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、次の時代を担う子どもたちが少しでも温暖化対策に関心を持つよう「Suzuka-ECO<sub>2</sub>プロジェクト」をはじめ、さまざまな環境教育に力を入れています。

私たち一人一人がカーボンニュートラル社会実現のために、何ができるかや何をすべきかを考えましょう。



## Suzuka-ECO<sub>2</sub>プロジェクト 出前授業

三重県地球温暖化防止活動推進員の協力のもと、市内の小学校で地球温暖化防止をテーマにした授業を行い、小学生の環境意識の向上を図っています。

令和3年度もSuzuka-ECO<sub>2</sub>プロジェクト出前授業を市内6校で実施する予定です。

この授業では、地球温暖化を防ぐために身近な生活の中で実践できることを教えています。正しいごみの分別を教えるクイズなどを通して、楽しく学んでもらっています。子どもたちには、地球温暖化に関心を持って、二酸化炭素排出量の削減の取り組みを行い、将来の環境を守ってほしいですね。

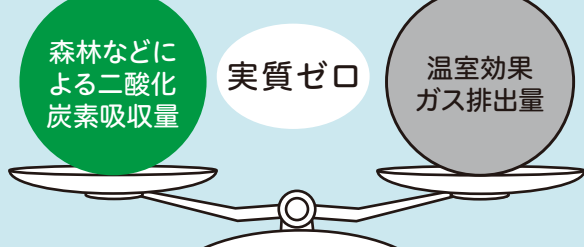
三重県地球温暖化防止活動推進員

ぶんき  
落合文記さん



### カーボンニュートラル社会って？

温室効果ガスの排出量と、森林などによる二酸化炭素吸収量を差し引いて「実質ゼロ」を達成した社会のこと。



### カーボンニュートラル社会の実現に必要なことって？

#### 温室効果ガス排出量を減らす！

- 建物や機器の省エネルギー化
- 公共交通機関の利用拡大
- 電気自動車・燃料電池車などの普及
- 再生可能エネルギーの導入

#### 二酸化炭素吸収量を増やす！

- 植林・緑化の推進
- 海藻・水生植物をとりまく水環境の保全

### 本市が取り組む環境教育

## ～環境を考えるポスター展～



▲ 今年のポスター展

環境問題への理解・関心を高めるきっかけとなるよう、市立小・中学校の児童・生徒を対象とした「鈴鹿市の環境を考えるポスター展」を行っています。

ポスター展には、地球温暖化や食品ロス削減、マイクロプラスチック問題などをテーマにした子どもたちの力作が並びますので、ぜひご覧ください。

なお、作品は夏休み期間中に募集します。児童・生徒の皆さんはご応募ください。  
※ポスター展の日程などは、広報すずかや市ホームページでお知らせします。

